



看護局長ご挨拶

看護局長 吉清 百合子

—優しい医療を根幹に、地域の皆様に寄り添う看護を—



看護局の理念

病院理念でもある「**人にやさしい医療**」を根幹とし、看護局では「私たちは、地域の皆様に寄り添い、信頼される看護を提供します」を理念に掲げ地域のニーズに応えていきたいと考えています。

患者様、ご家族の気持ちを尊重し、やさしさのある看護を提供するとともに、看護局のみならず、多職種と協働し、質の高いチーム医療を提供できるよう、専門職として常に自己研鑽に努めていきたいと考えています。



看護局長として大切にしている事

当院があるいすみ市は、「住みたい田舎ベストランキング」で10年連続1位をとるほど自然豊かでおいしい食材にも恵まれとても住みやすいところです。

それゆえに、他の地域より入院する事により普段の生活環境とのギャップを大きく感じる事と思います。

入院という環境の変化は、時に患者さんに大きな影響を与えます。普段何気なくしてきたことも入院によって制限される事でストレスが生じ、その人らしさを失うことがあります。入院中は、医師を中心に多職種が連携し、早期退院を目指すとともに、患者様がその人らしく過ごせる時間を大切にしていきたいと考えています。

これまでいただいたご縁とご指導への感謝の気持ちを忘れず、これからも地域の皆様のために貢献していくことが、私の使命であると考えております。



看護局の紹介

看護局には、総勢129名が所属し、看護師、准看護師、介護福祉士、看護補助者がそれぞれの役割を担いながら日々の業務にあたっています。

新しい知識や技術を身に付けている20代、子育てを両立しながら奮闘中の30～40代、これまで培ってきた豊富な経験を活かし後輩の指導にも力を注ぐ50～60代など、幅広い年齢層が揃っている事で様々な視点で患者様を診ることができるのが、看護局の強みであると考えています。

いすみ訪問看護ステーションを併設しており、地域へも活動の場を広げています。



今後の目標

少子高齢化の中、今後も地域の皆様から『この地域になくてはならない病院』と思っていただけることが目標です。

いすみ医療センター 通信 Vol.7

ISUMI
MEDICAL
CENTER
MAGAZINE

令和8年9月



— Topics —

- ・新病院長ご挨拶
- ・新任医師紹介
- ・整形外科について
- ・看護局長ご挨拶

発行：広報委員会

新病院長ご挨拶

— さらに皆様のお力になれる様に —

病院長 柴田 貴久



いすみ医療センターの柴田と申します。病院長に就任して最初の広報紙ですので、簡単に病院のご紹介をいたします。

いすみ医療センターは、いすみ市・大多喜町・御宿町の1市2町が設立母体の病院です。外来、入院、救急、リハビリテーション、療養、在宅医療など、幅広い役割を担っております。地域の皆様にとって、身近な医療機関であると同時に、体調を崩したとき、入院が必要となったとき、退院後の生活を整えるときに、継続して関わる病院でもあります。

「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるように」医療の面から皆様のサポートして参ります。

外来診療

当院の外来は大きく分けて新患外来、予約外来、救急外来、感染症外来の4つの機能を備えています。当院を受診するすべての患者さんが、医師の診察を受け、自宅療養か入院か、入院であれば当院に入院か他院に転送するかなど、担当医師が方針を決定します。

救急診療

地域医療の最も大切な機能の一つであります。医師不足の中にあっても効率的で良質な救急医療を提供できますように日々奮闘しておりますが、地域の皆様から多くのご要望を頂くところでもあります。救急医療のさらなる充実のため、スタッフ一同、精一杯努力して参ります。

入院診療

入院される患者さんの多くはご高齢の方です。入院時に複数の疾患を併発していることが多いため、それら一つ一つへの丁寧な対応が必要となります。また病気を診るだけでなく、患者様の生活環境や社会的、地域的背景なども考慮しながら診療するよう常に心がけています。

在宅医療

地域包括ケアの実現に向けて、在宅医療の重要性は益々高まっています。当院では、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの3つの在宅医療を担っております。訪問診療は医師・看護師がご自宅に伺い、診療を行います。訪問看護は、医師の指示に基づき、看護師がご自宅に伺い健康状態の確認や療養上のケア、日常生活に必要な支援などを行います。訪問リハビリは、理学療法士などのリハビリテーション専門職が、ご自宅に伺いリハビリテーションを行います。

公立病院として、限られた医療資源の中であっても、必要な医療を適切に届けるためには医師、看護師をはじめとする多職種のスタッフが連携し、それぞれの専門性を発揮することで、安全で質の高い医療の提供に取り組んで参ります。

いすみ医療センターが地域に必要とされる病院であり続けられるよう、現場の力を結集し、地域医療の充実に努めます。皆様には、当センターの取り組みに引き続きご支援ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

新任医師ご紹介

さくま いっき
佐久間 一基

8月付けで就任いたしました。
どうぞよろしくお願い致します。

さとう あゆこ
佐藤 安佑子

地域の皆様に安心してご相談頂けるよう、
丁寧な診療を心掛けてまいります。
どうぞよろしくお願い致します。

なかつら あみ
中面 杏海

4月付けで赴任いたしました。中面と申します。3月までは旭市にある国保旭中央病院で勤務しておりました。いすみ市の自然に触れ、地域の皆様に触れ、いすみについての学びも深めながら診療に邁進していく所存です。これからどうぞよろしくお願い致します。

地域に寄り添う整形外科診療を目指して

整形外科 土岐 恭範

いすみ医療センター整形外科では、地域の皆様が安心して毎日の生活を送れるよう、幅広い整形外科診療を行っています。骨折やケガ、腰痛、膝や肩の痛み、関節疾患、スポーツ障害、加齢に伴う運動器の不調など、様々な症状に対し、お子様からご高齢の方まで診療しています。

手術部門では、ケガなどによる骨折に対する整復術など積極的に行っております。また、変形性膝関節症や股関節疾患に対する人工関節手術にも力を入れており、人工膝関節置換術や人工股関節置換術など、患者様に合わせた治療を行っており、手術から術後のリハビリまで丁寧にサポートしています。

また、地域の医療機関や介護福祉施設、リハビリスタッフとも連携しながら、患者様一人ひとりの生活背景や困りごとに寄り添った診療を大切にしています。診察だけでなく、治療後の生活やリハビリについても丁寧に相談し、「その人らしい生活」を支えられるように心がけています。

整形外科の症状は、「年齢のせいだから」と我慢してしまう方も少なくありません。しかし、早めに相談することで症状の改善や悪化予防につながることも多くあります。痛みや違和感など、気になることがあれば小さなことでもお気軽にご相談下さい。

土岐先生より患者様へ

地域の皆様に安心して相談いただける整形外科を目指しています。

膝や股関節の痛みで、外出や趣味を諦めている方も、適切な治療で、生活が楽になるケースがたくさんあります。

手術だけでなく、外来で患者様としっかりお話する時間も大切にしています。

どんなことでもお気軽にご相談ください。

